

# 狛江市健康マイレージ制度(案) の基本的な考え方

---

# 目次

---

1. 健康マイレージ制度の創設にあたって.....3
2. 「狛江市健康マイレージ制度」のポイント.....4
3. 制度開始までのスケジュール.....5
4. 制度導入にあたっての2つの論点.....6

# 1. 健康マイレージ制度の創設にあたって

---

- 健康マイレージ制度とは？

健康寿命の伸長・医療保険給付の総額を抑えるため、  
運動をはじめとした参加者の健康増進活動にインセンティブを付与  
(導入実例 さいたま市、横浜市、浦安市、藤枝市、尼崎市ほか)

- 健康マイレージ制度の問題点

どのような制度設計にすれば参加者が増え、大きなインセンティブ  
を与えられるのか、今のところスタンダードな戦略はない。

## 2.「狛江市健康マイレージ制度」のポイント

---

(1) 当面、市による個人ごとのマイレージ(ポイント)管理は行わない。

※マイレージ(ポイント)は数値以外に商品なども可能とする。

(2) マイレージ(ポイント)付与事業に参加した場合に、  
参加券(台紙)の配布または参加印(ポイントカード)を押す。

(3) マイレージ(ポイント)付与事業は、福祉保健部の事業に  
限定することなく、他の部の事業と連携する。

### 3. 制度開始までのスケジュール

---

平成29年度 先進事例の調査、制度設計の検討  
庁内各課→マイレージ(ポイント)付与対象事業  
の洗い出し

平成30年度 健康マイレージ制度 ★試行実験  
マイレージ(ポイント)付与対象事業の決定

 問題点の修正

平成31年度 健康マイレージ制度 ★本格施行

## 4. 制度導入にあたっての2つの論点(1)

---

論点1) 何に対してマイレージ(ポイント)を付与するか。

① 決められた量を達成した場合にマイレージ(ポイント)を付与する

(例: 健診、イベント、講演会への参加) → 確実性が 高い

② 目標を達成した場合にマイレージ(ポイント)を付与する

(例: 特定健診の測定結果が前年度より改善した) → 確実性が 低い

※①<②の間で、マイレージ(ポイント)差を設けることにより、  
参加者のインセンティブも変化する。

## 4. 制度導入にあたっての2つの論点(2)

---

論点2) マイレージ(ポイント)をどのように景品と交換するか。

①すべての人がマイレージ(ポイント)を景品と交換できる。

→確実性は 高い が、市にとっては 予算建てがしにくい。

②マイレージ(ポイント)は、景品と交換するための申し込みの権利

(=抽選などにより、景品の贈呈者を限定する)

→確実性は 低い が、市にとっては 予算建てが比較的容易。

# 4. 制度導入にあたっての2つの論点(まとめ)

## 論点1.何に対してポイントを付与するか。

決められた「量」を達成したときに付与する  
(例:健診、イベント、講演会への参加など)

その人の「目標の達成度合い」に対して付与する  
(例:特定健診の測定結果が前年度より改善したなど)

**A**

- ・参加者のモチベーションが維持しやすい
- ・参加者数に関わらず、景品の水準は変わらない

**B**

- ・参加者のモチベーションは最も維持しにくい
- ・結果に対してインセンティブを付けられる
- ・参加者数に関わらず、景品の水準は変わらない

**C**

- ・参加者のモチベーションは最も維持しやすい
- ・参加者数によっては景品の質が低くなるおそれがある

**D**

- ・参加者のモチベーションが維持しにくい
- ・結果に対してインセンティブを付けられる
- ・参加者数によっては景品の質が低くなるおそれがある

論点2.ポイントをどのようにに景品と交換するか。

抽選などで対象者を限定して交換する

希望者は全員交換できるようにする

→「領域A」をベースにして、制度を構築することが最も望ましいか。